

組合員のみなさまへ

自己改革



地域の農業とくらしに、必要とされる“JAつがるにしきた”に。

3つのしんこうに取組み中

「農業振興による農業所得増大の実践」

「組合員・担い手との親交を深める事業活動の実践」

「JAと組合員・地域との深耕拡大の実践」

の3つの重点目標を掲げ自己改革に取り組んでいます。



JA つがるにしきた

平成30年12月



J Aつがるにしきた

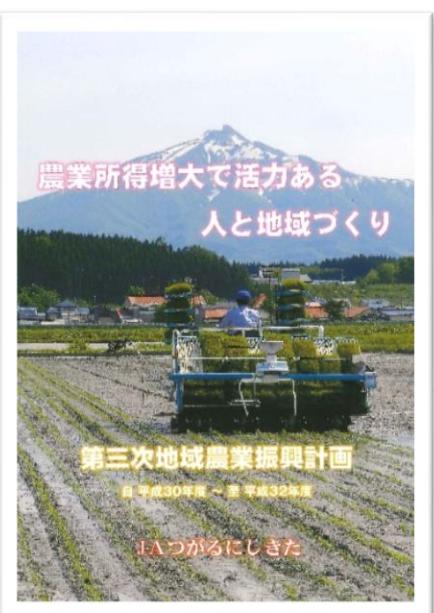
自己改革の進捗状況！

① 農業振興による農業所得増大の実践

◆ 農家手取り最大化に向けた取組み

平成30年産用肥料について、主力作物である水稻に重点をおき、銘柄集約により価格の引下げ、また当JA独自の水稻一発肥料「JAつがるにしきた水稻一発250」を開発し、既存の一発肥料よりも価格の引き下げを実現いたしました。

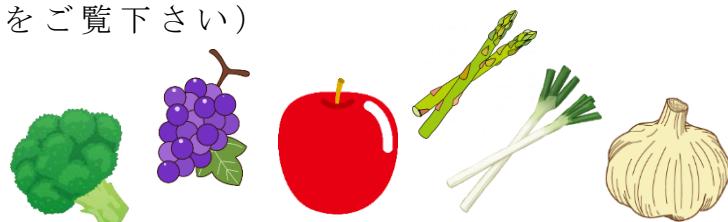
平成31年用の肥料・農薬注文書作成にあたっては、生産現場の「声」を農協事業に反映させるため、各作物協議会等代表者と検討会を開催。また、りんご・メロンの当JAオリジナル肥料を採用し、更なるコスト・省力資材の普及に取り組んで参ります。



◆ 農業生産拡大に向けての取り組み

「農業振興計画」では、当JA管内が広範囲にわたることから、各支店の特色ある作物の振興を考慮しながら、新規作物・面積拡大に係わる支援に努めています。

←（詳しくは、第三次地域農業振興計画をご覧下さい）



② 組合員・担い手との親交を深める事業活動の実践

◆ 人づくりと交流による組織の活性化

担い手農家の若手同士による後継者育成を目指して「わげもの会」を発足。役員との意見交換の場として「わげもの会」を中心とした「若手担い手交流会」を実施するなど、若手担い手農家の意見・要望を聞き取り事業運営に役立てる体制を強化しています。



③ JAと組合員・地域との深耕拡大の実践



◆ 地域に根ざし、地域づくりに貢献

組合員・地域住民と職員の交流により絆を深める「農協祭り」を4統括支店毎に毎年開催。組合員・利用者・地域住民への日頃の感謝とお礼の気持ちを伝えるとともに、地域農業の更なる発展 JA事業への理解・促進および深耕を深めています。



TAC体制の見直しを図り、支店長、支店長代理、営農経済課長が担当。ベテラン職員が組合員に出向き要望や意見の聞き取りを行っています。また、長内組合長をはじめ組合員の声を聴くため、常勤役員による同行巡回を継続し利便性向上に努めて参ります。

耕そう、大地と地域のみらい。  JAつがるにしきた

全組合員調査

“JAの自己改革に関する組合員アンケート”

いつもJAつがるにしきたをご利用いただき、誠にありがとうございます。

現在、JAグループは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げ、自己改革に取り組んでいます。

一方、政府は規制改革実施計画を策定し、農協改革を実行するようJAグループに強く要請しており、改革の進歩状況によっては、JA事業の見直し・准組合員の利用規制の検討などが行われることが想定されます。

組合員の皆さまの声をお聞かせください

J A職員が調査のためご訪問いたします

J Aグループでは、地域のJAが取り組んでいる自己改革に対する評価をお伺いして、より一層組合員の皆さまの期待に応え、組合員の協同による総合事業によって、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなれるよう全組合員（正・准組合員）アンケートを実施し、自己改革の取組みに対する皆さまのご意見をお聞きすることといたしました。

組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員の事業利用規制のあり方の検討に向けても重要なとなります。ご協力をお願い申し上げます。

★調査実施期間

平成30年12月～平成31年2月

★調査対象者

正組合員・准組合員の皆さま全員です。なお、法人の組合員につきましては、法人の代表者様に回答をお願いします。



★実施方法

JA職員が個別訪問して「JAの自己改革に関する組合員アンケート」を手渡し、内容について説明を行い、その場で回収、もしくは後日回収致します。調査は無記名のマークシート方式となっております。

JAの自己改革に関する 組合員アンケート

アンケートへのご協力のお願い

JAグループは、以下の3つの基本目標を掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。



今般、JAグループでは、みなさまの地域のJAが現在、取り組んでいる自己改革に対する評価をお伺いして、より一層、組合員の皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなれるよう、組合員アンケートを実施することといたしました。

なお、政府は、平成33年3月まで、自己改革の実施状況などを調査することにより、改革の進展状況によっては、JA事業の分割や准組合員のJA事業利用の規制などが検討されることが想定されます。

組合員のみなさまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方の検討に向けても重要なとなります。ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

JAグループ

1. 農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称				
人づくりによる地域農業の活性化（農業振興計画） 地域に活性を与える若手担い手の育成				
取り組みの目的・コンセプト				
「わけもの会」を中心に現地講習会や先進地視察研修を開催し、生産技術の向上を図る。 また、地域活性化の取組として交流会等を開催し、仲間づくりをすすめる。				
参考範囲	正組合員	<input type="radio"/>	職員	<input type="radio"/>
	准組合員	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input checked="" type="checkbox"/>
	地域住民	<input checked="" type="checkbox"/>		
取り組み内容				
○JAと担い手農家の若手同士による後継者育成を目指し平成29年4月に「わけもの会」発足 会員は、101名で現地研修会や先進地視察研修などを通じ、新しい技術や生産資材情報を共有・研鑽することで営農技術向上を目指す。 また、会員全体での交流会では、若手職員との交流を深めることを目的に活動。				
実績（人数・経費等）、効果等				
【活動実績】平成29年6月 水稲密苗研修 会員参加者20名 平成29年7月 りんご高密植わい化研修 会員参加者10名 平成29年8月 北海道先進地視察研修 会員参加者26名 平成30年1月 若手担い手交流会 会員参加者68名 平成30年3月 農業機械セルフメンテナンス講習会 会員参加者14名				

2. 地域活性化への貢献力発揮

取り組みの名称				
'農協祭り'の開催				
取り組みの目的・コンセプト				
参考範囲	正組合員	<input type="radio"/>	職員	<input type="radio"/>
	准組合員	<input type="radio"/>	その他	<input checked="" type="checkbox"/>
	地域住民	<input type="radio"/>		
取り組み内容				
地域づくりに貢献する事業活動として、組合員・利用者・地域住民への日頃の感謝とお礼の気持ちを伝えるとともに、地域農業の更なる発展とPR、JA事業への理解・促進及び親交を深める目的で昨年度から実施。				
実績（人数・経費等）、効果等				
各統括支店毎に4箇所で約1,500人が来場し、地元の中学校の吹奏楽部による演奏や女性部の踊りの披露・ジャンケン大会などを催し、各会場とも大いに賑わった。				
【開催日・開催場所】				
平成29年8月25日「つがる市柏ふるさと交流センター」 つがる統括支店管内				
平成29年11月3日「中泊町総合文化センター」 津軽北部統括支店管内				
平成30年2月23日「鰺ヶ沢町舞戸公民館パル」 つがる白神統括支店管内				
平成30年2月24日「鶴田町農村環境改善センター」 鶴翔統括支店管内				